広報

おくりり

奥尻町民憲章（昭和53年７月15日制定）

わたくしたちは、緑ゆたかな神威の山と、幸多い日本海を友として清くたくましく育まれた奥尻の町民です。

風雪に耐えて秘境をひらいた先人の偉業をたたえ、恵まれた自然と郷土を愛し、みんなの力と創意をはたらかせ、誇りと責任をもち、希望にみちた住みよい町づくりに努めます。

1.自然を生かし　環境をととのえ　美しい町にしましょう
1.力をあわせ　生産の工夫につとめ　豊かな町にしましょう
1.きまりを守り　心とからだをきたえ　明るい町にしましょう
1.たがいに学び　教養を高め　みのりある町にしましょう
1.郷土を愛し　未来をひらく若い力を育て　伸びゆく町にしましょう

秋の収獲「稲刈り」作業

農家の皆さんが丹精を込めて育てた苗は稲穂になり秋の深まりを感じさせます。

奥尻町で作られている主なお米は「きらら３９７」「巴まさり」で、今、富里・米岡地区では稲刈りが行なわれています。

平成４年

10月号

No.297

今月のカレンダー

2日(金) 教育委員会
4日(日) 第5回健康のつどい，92おくしりふれあい広場（町民センター）
6日(火) 第3回民生委員協議会
8日(木) 耳鼻咽喉科診療（浜本先生）PM1時30分～10/9 PM2時30分まで
10日(土) 第3回町民体育祭
〃 体育の日
12日(月) 神威脇温泉定休日～16日（保守定期点検）
13日(火) 高血圧・糖尿病教室～15日
14日(水) 巡回児童相談～15日
15日(木) 巡回無料法律相談
16日(金) 乳児健康診査
〃 眼科診療（水野先生）PM1時30分～10/17 AM9時30分まで
17日(土) 奥尻町総合文化祭～18日
〃 小児科診療（小椋先生）AM8時30分～11時まで
20日(火) 土用
21日(水) リハビリ教室（母子健康センター）
23日(金) 札幌・函館・東京島人会
サミットinおくしり
〃 子供絵画展～25日
26日(月) 産婦人科診療（郷久先生）PM1時30分～10/28 AM9時30分まで
31日(土) 路線バス（幌内線）運行終了（4月30日まで）

※町内各行事の日程は変更になる場合もありますのでご了承下さい。

越森幸夫氏が投票当選

就任のごあいさつ

奥尻町長　**越森幸夫**

このたび、奥尻町長選挙において、町民皆様の力強いご支援をいただき、無投票当選の栄に浴し、五期目の町政を担当する栄誉を与えられました。

この間、町民皆様の町政推進に対する深いご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げますとともに町民各位の尊い信託の重責に身の締まる思いでいっぱいでございます。

もとより微力ではありますが皆様の四期に及ぶ暖かいご厚情と貴重な経験を基礎とし、引き続き清新の心を情熱をもって二十一世紀の誇り高き島ライフ「第三期奥尻町発展計画」を道標として『カプセル愛ランド・ざ・おくしり』を合い言葉に快適でやすらぎのある活気に充ちた島の建設を目指し更に精励努力する覚悟であります。

私は、シンボルテーマ実現に向け三本の柱を掲げております。

一つには、離島の特色を活かした産業、海の幸おこし。

二つには、うるおいと生きがいのある生活。

三つには、創造力と郷土愛あふれる人おこしであります。

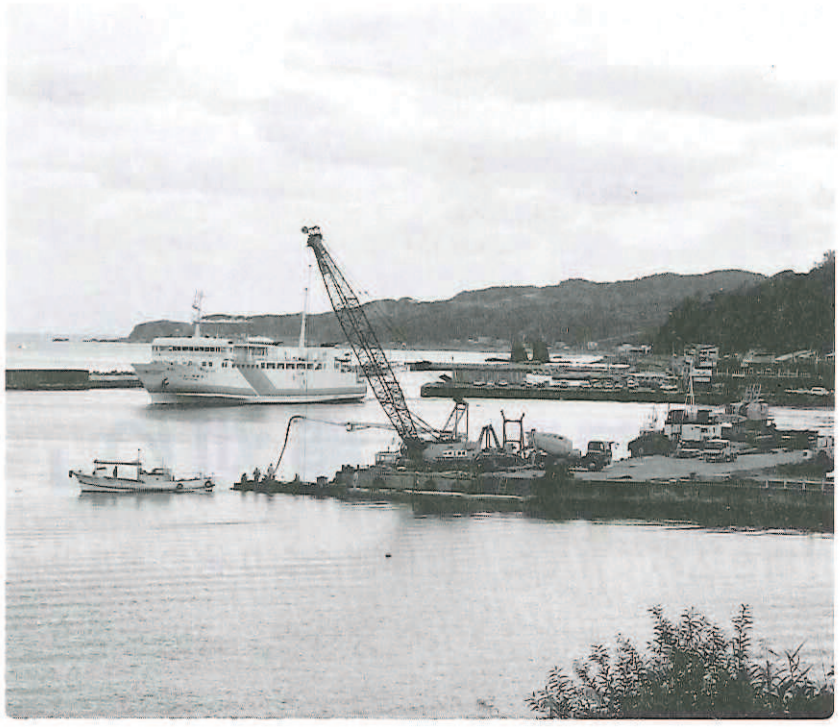
これら三本柱の展開施策については、ただ今進行中でありますが、時の流れとともに目まぐるしく変わる国際情勢や低迷する国内経済の動向など加えて「しま」の厳しい自然条件下にある本町は、二十一世紀の幕開けが刻一刻と進むにつれ、地方行政を取り囲く環境は必ずしも容易ではありませんが、適格な状況判断と堅実な財政運営を考えながらあるべき「しま」の姿形成のため、果敢な挑戦を惜しまないものであります。

特に、奥尻町は四方海に囲まれ基幹産業である漁業と共に栄えました。

しかし、島の各産業の現状を見るとき、その課題は多く今後基盤整備により、これら産業の振興を図ることが急務であります。又、高齢化社会の急速な進行により、今までの経済援護、施設整備であった福祉行政は、これと併せ「おもいやり」・「いたわり」など心の蘇生を養い地域福祉思想の意識高揚に努めなければならないと考えております。

二十一世紀を目前に先人の汗して拓いたこの奥尻島を「もっとよくしたい」という町民皆様の願いと期待に応えるため、関係機関・団体と力を合わせ島の発展に努力する覚悟でおりますので、町民皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。

女子職員からお祝いの花束を受けとる越森町長



奥尻町議会議員補欠選挙

9月8日に告示されました奥尻町議会議員補欠選挙が行なわれ、**寅尾裕志さん（無所属・新）**が無投票当選となりました。

10月は　固定資産税 第4期　国民健康保険税 第5期　の納める月です

※　忘れずに10月31日までに納めましょう。

※　納税には、便利で確実な口座振替をおすすめします。

完納して明るい町を築きましょう。

心地よい汗流し

老人スポーツ交流

9月5日、奥尻町民センターにおいて、平成4年度奥尻町老人クラブ連合会会員スポーツ交流会が、町内9老人クラブの約130人のお年寄りの参加により行なわれました。

この交流会は、奥尻町老人クラブ連合会が主催し、昨年にひき続き2回目で、会員皆んながスポーツを楽しむことによって積極的な社会参加を促進し、地域の協調性を養い、健康意識の高揚と老人クラブ相互の交流を図ることが目的です。

開会式の後、競技に入り、各クラブごとに、輪投げ、ゲートボール、ボーリング、ジャンケンゲームといった軽スポーツでの種目の合計得点で順位を競い、珍プレー好プレーがあるなど心地よい汗を流して大いに盛り上がりました。

又、競技終了後の懇親会ではアトラクションとして、奥尻カラオケ愛好会（会長沢田正男）の皆さんが歌謡ショーを行ない会員の飛び入りもあるなど楽しいひとときを過ごしていました。

ジャンケンゲームを楽しむ参加者達

PART2 豊かな漁業を目指して 今・浜では つぶ蓄養試験への取り組み

漁協青年部（部長蠣崎尚之）では、平成4年度の事業としてつぶ（ヒメエゾボラ）の長期蓄養試験に取り組んでいます。

つぶは現在、6月から8月までの期間しか漁獲されていませんが、長期蓄養ができるとなれば冬期間の出荷が可能となり、価格の向上が期待できます。

蓄養は、赤石地区で8月21日から、青苗地区で8月26日から、ウニ篭15篭ずつに入れて行っており、それぞれ稲穂、奥尻、青苗地区の青年部員が10日ごとに餌のホッケを与えています。

第1回の給餌の際には、赤石地区で3千700個中110個が、また、青苗地区で4千200個中300個が死んでおり、「この調子で死なれては：」と心配されましたが、2回目以降では各篭1個から2個程しか死なず、順調に生息しています。

試験は、生き残り状況の他に、蓄養密度や給餌量についても行っており、この試験の成果によって誰にでもできるつぶ蓄養の方法が確立されればと期待されています。

試験は12月中旬まで行う予定ですので、皆さんも応援してください。

蓄養試験に取り組む漁協青年部

「いきいき〝まちづくり〟」コンクールで奥高 飯田さん優秀賞

檜山プロジェクト推進委員会が主催し、子供からお年寄りまですべての人々が健康的にいきいきと安心して暮らせる〝まちづくり〟を進めるためには、どのようにすればよいかについて、自らの体験や将来の夢などをとおして考えることにより「高齢化」や「過疎化」を身近な問題としてとらえることを目的に檜山管内の小学生、中学生、高校生、一般から広く募集を行なった「いきいき〝まちづくり〟」作文、絵画コンクールにおいて、奥尻高等学校一年飯田麻美さんが見事作文の部で優秀賞に入賞しました。

表彰式は、9月27日に北檜山町で開催されたシルバーひやま「いきがいタウン・セミナーin檜山」で行なわれましたが都合により欠席したため、奥尻高等学校校長室において福地校長から飯田さんに手渡されました。

入賞された作品をご紹介します。

「活気ある〝まちづくり〟」

奥尻高等学校一年B組　**飯田　麻美**

近年、高齢化や過疎化が大きな問題としてとりあげられていますが、私の住んでいる町もまさにその状態で、高校を卒業した生徒のほとんどは、就職のため島を出て行ってしまいます。そのため、高齢化は進む一方だし、若い人の層がうすいために、生まれてくる子供の数は減るばかり。これがくり返されるわけですから、人口は序々に減っていきます。しかし、もっと島内に就職する所があったら、高校を出た後、わざわざ知らない土地で働くよりも、島に残って仕事をしようと思う人も増えるはずです。

私だって、生まれ育ったこの島が一番好きだから、できればずっとここで暮らしたいと願っています。しかし、仕事もないのに、故郷にしがみついているわけにはいきません。

人は生きている以上、働かなくてはならないのですから、当然仕事のある場所に人口は集中します。あたりまえのことです。

そうなると、大都市への人口の流出を防ぐために、地方での働き口を増やすことが必要になってきます。そして、不便のない、暮らしやすい町をつくる努力をすることが大切です。

もしも、私がこの町をつくり変えられるのなら、まず最初にサービス業などの第3次産業を増して若い人のための就職口を作り、島に残って働けるようにします。

次に、高齢化対策のために、老人のための施設を作り、老後も安心して暮らせるようにし、そして公園や遊園地など、楽しめる場を設置するつもりです。島を出て行く若い人の中には、都会にあこがれてという人も少なくはないのですから・・。

それから、道路を広くすることも考えなければならないことの一つです。私の家から学校までバスで二十五分程ですが、乗っていてよく思うことがあります。バスが一台通るのがやっとの幅で、対向車とすれ違う時は、ほとんどスレスレです。大きな車だとなおさらです。事故を起こさないのが不思議なくらいです。だから道路の幅を広くして、初心者でも安心して運転できるようにするべきです。

今まで生活してきて、特に不便に感じたことはありませんでしたが、こうして改めて考えてみると、まだまだ改善のよちはあるように思えます。

しかし、島にある自然は大切にし、育てていかなければならないと思います。海があって、山があって、人がいて、こういう島が私は一番好きなのですから。

漁業にしても、採る漁業から育てる漁業へ変える必要があると思います。何にしても、資源には限りがあるからです。

とにかく、人が快適で幸せな生活を送れたら、これくらい良いことはありません。そのためのイキイキとした町づくりは、人間の幸せをつくる大きな第一歩だと私は思います。

校長室での伝達式

秋の全道火災予防運動

10月15日から10月31日

“点検を 重ねて築く 火災ゼロ“

絶対に火事を出さないよう注意しましょう

国民年金保険料

10月分の納期限は10月31日です。

※忘れず地区の婦人会か役場又は役場青苗支所に納めましょう。

笑顔と明るい声が会場いっぱい

奥尻町「敬老のつどい」

9月15日の「敬老の日」、奥尻町においても「敬老の集い」が奥尻町民センターにおいて開かれ、244人のお年寄りが出席をしました。

会場には、明治、大正、昭和、平成の4世代を生き抜き人生の年輪を積み重ねてきたお年寄り達の明るい笑顔と弾んだ声がいっぱいに広がっていました。

人生80年代を迎えた現在、わが国は世界一の長寿国といわれており、奥尻町でも老齢人口は総人口の17.4％を占めております。

長寿は私たち日本人はもとより、全世界皆んなの願いでもあります。おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気でお過ごし下さい。

244人が集まった「敬老の集い」

今年の「敬老の集い」の招待を受けた人数は男性が242人、女性が284人の計526人（9月1日現在70歳以上）で昨年に比べ16人多く、このうち244人の方が元気に出席しました。

集いは午前11時から始まり、越森町長、上野町議会議長がお祝いの言葉をのべ、今年の白寿、米寿、喜寿、金婚を迎えられた方々に町と道から記念品が贈られました。

設けられた席には、お酒やごちそうがたくさん並び、余興では琴城流大正琴函館四季の会奥尻さくら教室の皆さんによる「荒城の月」、「船頭小唄」などの大正琴演奏、江差民謡会及び青函民謡会の皆さんによる民謡、舞踊と盛りだくさんと披露され会場からはおひねりや大きな拍手が贈られるなど、おじいちゃん、おばあちゃん達は楽しい一日を過ごしていました。

今年めでたく白寿、米寿、喜寿、金婚を迎えた人は次のとおりです。

白寿を迎えた人（99歳）

○中村ヨ子さん（字青苗）

米寿を迎えた人（88歳）

○逸見よしさん（字球浦）
○森よしさん（字奥尻）
○宮川ツサヨさん（〃）
○鎌田五三郎さん（字松江）
○石見義美さん（字青苗）
○朝倉ミナさん（〃）
○木村リエさん（〃）
○吉永トミさん（〃）

喜寿を迎えた人（77歳）

○櫻花武治さん（字稲穂）
○鈴木トヨさん（〃）
○三上カネさん（〃）
○山崎健之丞さん（〃）
○後藤ハルさん（〃）
○長崎次郎さん（字宮津）
○阿部きよせさん（〃）
○中村初枝さん（字球浦）
○福士やよさん（〃）
○松尾アイさん（〃）
○磯島ミサさん（字奥尻）
○櫛引定子さん（〃）
○渡辺セツさん（字奥尻）
○小川ふみ子さん（〃）
○佐藤きよのさん（〃）
○紀伊國大三郎さん（字赤石）
○小浜リソさん（〃）
○松前義一さん（〃）
○佐々木チイさん（字松江）
○坪谷トミエさん（〃）
○小黒吉造さん（〃）
○長谷川徳太郎さん（字富里）
○下原タケノさん（字米岡）
○泉ハルさん（字青苗）
○酒谷リナさん（〃）
○関口義喜さん（〃）
○猪股雄吉さん（〃）

奥尻さくら教室の皆さんによる大正琴演奏

長寿を祝って万歳三唱

地区（字）別の70歳以上・白寿・米寿・喜寿・金婚調べ

地区	人数	内訳 男	内訳 女	白寿	米寿	喜寿	金婚
稲穂	39	19	20			5	1
宮津	15	7	8			2	
球浦	34	13	21		1	3	
奥尻	141	57	84		3	5	2
赤石	28	11	17			3	
松江	55	27	28		1	3	
富里	15	9	6			1	
青苗	176	87	89	1	3	9	2
米岡	14	8	6			1	
湯浜	9	4	5				
計	526	242	284	1	8	32	5

長寿の祝い

①**古稀（70歳）**＝杜甫の詩「人生70、古来稀なり」にちなんだものです。

②**喜寿（77歳）**＝「喜びの字の祝い」ともいうが、喜は草書体で𠮟と書き、これが七十七とも読めるところから77歳を喜寿として祝っています。

③**傘寿（80歳）**＝傘の字を仐と書くことがあるが、これを八十と読めるところからきています。

④**米寿（88歳）**＝米の字が八十八とも読めるところからきています。

⑤**卒寿（90歳）**＝卒の草書体卆が九十と読めるところからきています。

⑥**白寿（99歳）**＝百という字から一を取ると白となるところからきています。

金婚を迎えた夫妻（結婚50周年）

○高城トシさん（字青苗）
○高森キミさん（〃）
○中島チヤさん（〃）
○深瀬ハナエさん（〃）
○若山金造さん（〃）
○道下久蔵さんご夫妻（字稲穂）
カスさん
○枝松寛さんご夫妻（字奥尻）
恭さん
○小柳由春さんご夫妻（〃）
キクさん
○林力雄さんご夫妻（字青苗）
トヨさん
○吉田正雄さんご夫妻（〃）
巴さん

満100歳と満90歳に長寿祝金

今年から、敬老の日までに満100歳および満90歳を迎えた方々の長寿を祝福し社会に貢献した労をねぎらい敬老思想の高揚を図ることを目的として奥尻町長長寿祝金が贈られることになりました。

この長寿祝金が贈られた方々は、満100歳を迎えた新谷シュンさん（字奥尻）、満90歳を迎えた佐野作治郎さん（字青苗）、佐野タミさん（字米岡）です。

現在3人の方々は国保病院に入院中の為、10月5日に越森町長が訪問をして「おめでとうございます」と一人一人に直接祝い金を手渡しました。

新谷シュンさんに祝金を手渡す町長

いつまでも　お元気で

奥尻町長寿者番付

東

横綱	田村　スマ さん	102歳	字奥尻
大関	中村　ヨ子 さん	99歳	字青苗
関脇	佐藤八太郎 さん	94歳	字赤石
小結	中村　ミハ さん	92歳	字青苗
前頭	水野留太郎 さん	91歳	字稲穂
〃二	宮越勘四郎 さん	91歳	字球浦
〃三	佐野作治郎 さん	90歳	字青苗
〃四	上山市三郎 さん	89歳	字青苗
〃五	松川　ミワ さん	89歳	字青苗
〃六	森　よし さん	88歳	字奥尻
〃七	宮川ツサヨ さん	88歳	字奥尻
〃八	逸見　よし さん	87歳	字球浦
〃九	朝倉　ミナ さん	87歳	字青苗
〃十	宇井　定穂 さん	87歳	字米岡
〃十一	野呂八太郎 さん	87歳	字稲穂
〃十二	小黒　金蔵 さん	87歳	字松江

西

横綱	新谷シュン さん	100歳	字奥尻
大関	三原　ミネ さん	96歳	字稲穂
関脇	川尻　ミツ さん	93歳	字奥尻
小結	千田　キヨ さん	92歳	字球浦
前頭	吉田留三郎 さん	91歳	字青苗
〃二	佐野　タミ さん	90歳	字米岡
〃三	須藤　すみ さん	89歳	字奥尻
〃四	岩坂　キヨ さん	89歳	字富里
〃五	角原　スエ さん	88歳	字松江
〃六	鎌田五三郎 さん	88歳	字松江
〃七	木村　リエ さん	88歳	字青苗
〃八	石見　義美 さん	87歳	字青苗
〃九	吉永　トミ さん	87歳	字青苗
〃十	菊地　ハル さん	87歳	字奥尻
〃十一	山崎　ソサ さん	87歳	字稲穂

蒙御免

天下泰平　平成4年9月吉日

長寿万歳　行司　奥尻町役場

奥尻町の87歳以上の方（平成４年９月15日現在）を相撲の番付表に示しました。

交通事故防止町民総ぐるみ運動

奥尻町から悲惨な交通事故をなくしましょう。

重点目標

◎薄暮時の歩行者と自転車利用者（特に高齢者）の交通事故防止。

◎スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止。

町民のひろば

我スポーツ人生を語る 南部 忠平氏 講演会

奥尻町主催で、9月4日、奥尻高等学校体育館において、北海道体力づくり専門指導員、オリンピックゴールドメダリストである南部忠平氏を講師として招き、「我がスポーツ人生」と題した講演会が開催されました。

南部忠平氏は、陸上選手として昭和3年第9回オリンピック・アムステルダム大会に初出場、三段とび4位、昭和6年、神宮球場での一般対抗学生陸上競技大会走り巾とびで、7メートル98の世界新記録樹立(以降約40年間記録保持者。)そして昭和7年第10回オリンピック、ロスアンゼルス大会に出場、三段とびは15メートル72の世界オリンピック新記録で優勝、走り巾とびでは7メートル45で3位入賞、金・銅メダル獲得と数々の金字塔を築き上げ、その後も北海道体力づくり指導員として、長年にわたり本道の体育、スポーツの振興に大きく寄与されています。

講演会には高校生徒、一般町民が出席し、南部氏は、陸上との出会いから練習での苦労話、オリンピックで優勝したときの心境、観衆の様子や自ら創意工夫し努力することによってやればできることを約1時間にわたり、熱っぽく語りました。

スポーツの魅力を熱っぽく語る南部先生

子ども会対抗 ソフトボール大会

学校週5日制の記念行事として子ども会対抗ソフトボール大会が9月12日、ファミリパークにおいて行なわれました。

大会には、町内各地区の子供会10チームが参加をし、日頃練習した成果を発揮しました。

応援には、地域ぐるみで父母や友達がかけつけ盛んな声援を送り、選手達も元気なプレーで好試合が続出しました。

決勝戦では赤石チームが谷地一区チームを16対3で破り見事優勝を果たしました。

個人賞は次のとおりです。

最優秀選手賞
佐藤 秀也君(奥小6年・赤石チーム)

敢闘賞
吉留 一也君(奥小5年・谷地1区チーム)

打撃賞
福野 由和君(奥小6年・赤石チーム)

熱戦が繰り広げられた子供会対抗ソフト

お年寄りに贈り物 奥尻5区子供会

奥尻5区子供会(会長川尻亮一くん)では9月15日、地区のお年寄りに手作りの小物入れを配布しました。

この小物入れは約50個作られ、老人世帯、国保病院、老人福祉寮「ことぶき荘」を訪問して「いつまでも元気でいて下さい」と手渡しおじいちゃん、おばあちゃんも心のこもったプレゼントに「どうもありがとう」と感激をしていました。

「ことぶき荘」を訪問してプレゼントを手渡す

高年齢者の 雇用にご協力を

労働省・ハローワーク公共職業安定所では、毎年10月1日から10月31日を「高年齢者雇用促進月間」と定めております。

本格的な高齢化社会の到来を迎えて、活力ある社会を維持していくためにも、1人でも多くの高年齢者が、働く場を得ることが出来ますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、公共職業安定所の紹介により、高年齢者を雇用していただいた場合には、助成金が支給される場合もあります。

求人等のお問い合わせは次にお願いいたします。

◎連絡先
ハローワーク・江差公共職業安定所、電話0139５―２―0178(3・4番窓口)

最新型の救急車が寄贈されました

檜山広域行政組合奥尻消防署、(署長佐藤聰)に日本赤十字社北海道支部から新しい救急車が寄贈され9月25日に配備されました。

新しい救急車は、トヨタ2800ディーゼルで悪路、雪路でも大きな駆動力を発揮する4WDです。

一方、昭和56年に導入したこれまでの救急車は平成4年9月までの11年間、述べ700件出動回数を記録しています。

新しい救急車の主な装備は車内冷暖や安全走行のための各種警光灯、ポータブル自動酸素吸入機、電池式吸引機、殺菌灯、海難救助用の救命ブイ、長距離搬送用の点滴フックスタンド2本、マジックギブスなどを備えつけており、今後救急業務の際に大きな威力を発揮するものと期待されます。

救急車の寄贈式

総合文化祭が 開催されます

今年も奥尻町文化協会(会長小山文男)主催の奥尻町総合文化祭が開催されますので町民皆さん多数ご来場、参加下さるよう日程をお知らせします。

◎とき 10月17日(土)・18日(日)
午前9時から午後5時まで

◎ところ 奥尻町公民館
お誘いあってご観覧をお待ちしております。

薄茶席
◎とき 10月18日(日)
午前10時から午後3時まで

◎ところ 奥尻幼稚園体育館
秋の一日を一服のお茶でおくつろぎくだされば幸いと存じます。

教育長杯囲碁大会
◎とき 11月8日(日)・午前10時から

◎ところ 奥尻町公民館
どなたでも参加出来ます。ご希望の方は、日本棋院奥尻支部上野昇 Tel 2―2021番にお申込み下さい。

作品展示会

わが家のアイドル

南谷 修一さん(字奥尻)の
二女 えり ちゃん(2歳)

みみがとっても つめたいんです

赤い羽根募金

共同募金

ご協力をお願いします。

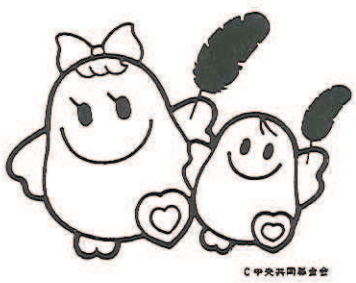
今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が行われます。

昨年は、檜山管内で1千208万4千747円の募金が寄せられ、このうち奥尻町では982千437円の募金が寄せられました。

この善意は、恵まれない方々や地域のために有意義に使われています。町民みなさんのご厚志に心よりお礼申し上げます。

今年の共同募金のスローガンは「ひとりひとりの優しさは社会の資産です。」で、奥尻町の目標額は995千226円となっております。

愛と希望を届ける赤い羽根共同募金にあたたかいご協力をお願いいたします。



特別養護老人ホーム「おくしり荘」から

「おくしり荘」前で盆踊り

◎盛大だった盆踊り

8月18日老人ホームの盆踊りを去年と同様に開催地域の方々やボランティアの方々の応援をいただき踊りの輪が二重になる程の賑いでした。

また、中休みに鍛治時計店様寄贈による昔なつかしい花火で夏の夜の一刻を過しました。（参加者約150名でした。）

◎ワークキャンプの試み

夏休みの8月4・5日1泊2日でワークキャンプ（体験学習）を中・高校生を対象に実施しました。

参加者は奥尻中学校3名、青苗中学校3名、奥尻高校1名の計7名でした。

反省会の感想では寝たきりの人が多いと思ったがみんな元気でゲートボール等を楽しんでいたのでおどろいた等と話しておりました。

なお、泉沢真澄さんは昨年にひきつづき実習ボランティアに来荘その後ワークキャンプに参加されました。

◎フレッシュ寮母さん成人式

昨年奥尻高校卒業と同時に採用されたフレッシュ寮母上野奈穂子さん、前田乃理子さんの2名が今年成人式を迎えました。

施設から心ばかりの記念品を贈呈して成人を祝福しました。

◎8月中のボランティア

社会福祉ボランティアセンターから奥尻婦人会2名様、青苗婦人会2名様

8月26日の誕生会に藤和会の子供さん達による踊りの披露がありました。

◎8月中の寄贈

鮮魚、三上勝広様
野菜、宇井定穂様、佐野昭栄様、末広徳喜代様、長谷川博様
果物、スーパー青苗様、広瀬和義様
清涼飲料水、丸森貞良様
花火　鍛治時計店様

「ホルツブレザー・アンサンブル・サッポロ」奥尻スクールコンサート」奥小で開催

9月10日、奥尻小学校体育館において、奥尻町教育委員会主催による「ホルツブレザー・アンサンブル・サッポロ奥尻スクール・コンサート」が開催されました。

ホルツブレザー・アンサンブルとは、木製の楽器を吹く演奏家達の合奏団という意味で、ホルツブレザー・アンサンブル・サッポロは1985年に結成され、以来札幌をはじめ、函館、釧路、旭川、滝川など道内各地で数多くの公演を行なっています。

演奏にあたる方々は、フルート森圭吾さん、オーボエ岩崎弘昌さん、ファゴット一戸哲さんの三人。音楽評論家の谷口静司さんによる解説で、楽器の説明やメンバーの紹介があった後、C・P・Eバッハ「トリオ・ソナタ二短調」、モーツァルト「きらきら星の変奏曲」など計7曲が演奏されました。

会場におとずれた、全小中学生、一般の方々は、ふだんなじみのない木管楽器の生演奏の見事な音色を十分楽しみ一曲ごとに大きな拍手を送っていました。

見事な演奏を熱心に聞く観客達

設立30周年を祝う 奥尻商工会

奥尻商工会（会長 玉井勲・会員165名）では、9月6日、奥尻町民センターにおいて奥尻商工会設立30周年記念式典を行ない長い歴史の節目を祝いました。

奥尻商工会は、昭和35年に「商工会の組織等に関する法律」が施行されてから翌36年に地元商工関係者により発起人会を発足させ設立総会を開催。

昭和37年1月に道知事認可となり、これにより商工業者が待ち望んでいた組織を発足しました。

昭和43年には商工青年部、昭和52年には婦人部も組織され、以来30年、幾多の苦難を克服して地域経済団体として組織と事業拡充の強化に努めて、地域振興の発展に大きく貢献してきました。

この間同商工会は、先進地視察研修をはじめ野球大会、各種講演会、又、昭和63年にはむらおこし事業、奥尻3大祭や町文化祭にも協賛するなど、各種事業、イベントなどを手がけてきました。

式典には来賓、会員ら約150名が出席をし、玉井会長の式辞の後、歴代商工会長、永年勤続役員、歴代商工会青年部長、初代商工会婦人部長に対しそれぞれ感謝状と記念品、永年勤続優良従業員（5年・10年・15年・20年）に対し表彰状と記念品がそれぞれ贈られました。

又、来賓の越森町長、小田原要四蔵北海道議会議員、坂田武志檜山支庁経済部長、笹谷清一郎北海道商工会連合会副会長から祝辞がのべられ式を終えました。

引き続き行なわれた祝賀会では、アトラクションとしてコロンビアレコード高田友恵さんの歌謡ショー、俵会による踊りなどがあり、盛会のうちに幕をとじました。

記念式典で式辞をのべる玉井会長

事業主のみなさまへ

労働保険の加入は おすみですか？

労働保険とは

労働保険は、雇用保険と労災保険の総称で、労働者の生活の安定・福祉の増進を図ることを目的としており、労働者を1人でも雇用する事業主の方は、法人・個人を問わずすべて労働保険に加入していただくという制度です。（但し農林水産業の一部を除きます。）

雇用保険

労働者が失業した場合に、生活の安定と再就職の促進のために失業給付を行うとともに、在職中の労働者を対象として失業の予防、雇用構造の改善、労働者の能力開発と向上を図るなど、雇用に関する総合的な機能を有する制度です。

労災保険

労働者が仕事中や通勤途中で負傷したり、あるいは不幸にも死亡した場合に必要な保険給付を行い、被災労働者やその家族を保護するものです。

また、社会復帰の促進など労働者の福祉の増進を図るための事業を行っています。

（中小企業の場合、事業主等も労災保険に特別加入できる制度もあります。）

労働保険の加入手続きは

労働保険の加入手続きには、事業主自ら手続きをする方法のほかに事業主に代わってこれらの事務手続きを行う「労働保険事務組合」制度もあります。

詳しいことは、ハローワーク江差公共職業安定所業務係（Tel 01395—2—0178）、函館労働基準監督署江差駐在事務所（Tel 01395—2—1028）、またはお近くの商工会・農協・漁協等におたずねください。

老齢基礎年金

年金コーナー

年金を受けるために必要な期間とは

❶国民年金の保険料を納めた期間
❷国民年金の保険料の免除をうけた期間
❸任意加入できる人が加入しなかった期間など(合算対象期間)
❹昭和36年４月以後の厚生年金保険（船員を含む）の被保険者期間または共済組合の組合期間
❺第３号被保険者であった期間
これらを合計して、原則として25年以上の期間が必要です。
※加入していても保険料を納めなかった期間はのぞかれます。

老齢基礎年金の年金額

加入可能年数を納めて
年金額＝725,300円
（月額60,441円）

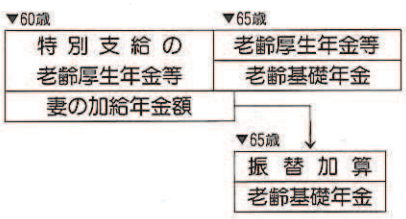
合算対象期間とは

いわゆる「カラ期間」と言われているもので、老齢基礎年金の受給資格期間（原則として最低25年）を満たしているかどうかをみるときは計算されますが、年金額の計算の基礎にはなりません。

▶合算対象期間として認められる期間

❶昭和36年４月から昭和61年３月までの間で配偶者が厚生年金保険、船員保険、共済組合に加入している間、本人が何の年金にも加入しなかった期間。
❷昭和36年４月以後で20歳から60歳までの間で海外に在住していた期間。
❸昭和36年４月以後の厚生年金保険の脱退手当金をうけた期間（昭和61年４月以後に国民年金の加入期間を有する場合に限る）。
❹昭和36年４月前の厚生年金保険などの被保険者期間で通算対象期間になるもの。
❺在日外国人のうち一定範囲の人の昭和57年１月１日前の期間。

妻の振替加算とは？



厚生年金・共済組合の配偶者加給の対象になっている妻が65歳になると、加給年金に替わり老齢基礎年金につく加算です。

大正15年４月２日から昭和41年４月１日までに生まれた人が対象で、金額は生年月日によって異なります。

お元気ですか 社協です

奥尻町社会福祉協議会

町の福祉向上への寄付ありがとうございました。

８月29日から30日にかけて、奥尻町体育協会（会長 上野弘安さん）主催による「24時間チャリティーソフトボール大会」が奥尻小学校グランドにおいて開催されました。

この大会に参加された方々より善意の募金として寄せられた87千370円が、町の社会福祉のために役立ててほしいと社協に寄付をいただきました。

社協では寄付者の意志を尊重して、町の福祉向上のための資金として有効に活用させていただくことにしました。

大会に参加協力くださいました町民みなさんのご厚志に心より深くお礼を申し上げます。

どうしてますか、こまったとき心配ごと相談所

相談日は、毎週水曜日午後１時から５時まで社協事務所において開設しております。

お気軽にどうぞ。

最低賃金を守りましょう

道内のあらゆる産業の事業場で働く常用、臨時、パートタイマー、アルバイト等のすべての労働者に適用される北海道地域包括最低賃金が、次のとおり改正されました。

◎最低賃金額 １日 ４千331円
１時間（時間労働者） 542円

◎効力発生年月日
平成４年10月１日

○最低賃金額には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外割増賃金等は算入されません。

○最低賃金額以上の賃金を支払わないと最低賃金法違反となり、処罰されることがあります。

よろこびのかなしみ

お誕生

おなまえ	保護者	住所
山内 みのり 拓也	道則 幹	字奥尻
久末		字宮津

10月の休日当番医

4日(日)	青苗診療所	TEL ③ 2331
10日(土)	奥尻町国保病院	TEL ② 3151
11日(日)	奥尻町国保病院	TEL ② 3151
18日(日)	青苗診療所	TEL ③ 2331
24日(土)	奥尻町国保病院	TEL ② 3151
25日(日)	奥尻町国保病院	TEL ② 3151

町の人口・世帯

住民基本台帳８月末日現在

男	2,427 人	(+15)
女	2,310 人	(+６)
計	4,737 人	(+21)
	1,778世帯	(+５)

（ ）は前月末比較増減

ご結婚

夫の名	妻の名	住所
坂本 英隆	＝新藤 美香	字宮津
高橋 守	＝堀江加代子	字奥尻
松尾 雅英	＝吉田富美子	字奥尻

ご冥福をお祈りします

おなまえ	年齢	住所
宇井トメ	83歳	字青苗
柳田喜一	72歳	字米岡
池島トク	87歳	字球浦

編集後記

10月に入り秋の涼しさが一段と身にしみて感ずるようになりました。

９月から10月にかけて出稼ぎに行く家庭が多くなる時期です。どうぞ島を離れて働くみなさん体に十分気をつけてお暮らし下さい。

秋はよく「スポーツの秋」とか「読書の秋」「食欲の秋」などといわれますが、皆さんはどの秋がお好きでしょうか、無理をせず、自分にあった〝秋〟を過ごしてみてはいかがでしょう。

今年も10月から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

みなさんの暖かいご協力をよろしくお願いいたします。

写真やご意見・要望・話題などをお寄せ下さい。

係では、皆さんの町政に対するご意見・要望・話題・写真などをおまちしております。

先月号No.296 5ページの檜山管内俳句大会の席題の部の第三位が**第二位**、特選句の佐々木久子さんは**佐々木利子**さんの誤りですので訂正します。（広報統計係）

◆発行・奥尻町役場　◆編集・企画振興課広報統計係